

夏休み 学校プール開放 実現へ

各学校プールで、7月25日から8月5日の期間(土・日除く)で実施

富永小は旧第3プール(保延寺)、高月小は旧第2プール(柏原)
古保利小・七郷小は旧第1プール(東柳野)で

たかつき

地域力

GOHGA

<発行>高月地域づくり協議会 広報研修委員会

高月地域のようなす	
人口	
男	5,104人
女	5,188人
計	10,292人
世帯数	
	3,263世帯
平成23年6月1日現在	

地域の子どもたちのためにお手伝いくださいませんか

六月二日、高月支所会議室で高月地域学校プール夏休み開放に向けた検討会議が再度開かれた。会議には四小学校のPTA会長、学校長、市議会議員、地域づくり協議会役員など関係者が出席し、前回(五月十日)

会議から持ち越されていた夏休みの学校プール開放に向けての協議が行われた。二時間に及ぶ真剣な話し合いの結果、保護者、地域、学校が協力することで今年プール開放への実現をめざすこととなりました。

子どもたちは、夏休みのプール開放を一番楽しみにしているはずだ。そのためにはプール活動中に事故が起こらないよう万全の安全対策を講じることが求められています。安全対策には、先ずプールを利用するにあたって約束をつくり、子どもも保護者も正しく守ること

が大切です。次に、子どもたちが安全に楽しくプール活動ができていくか、約束が守られているかを見守る監視員をプールサイドに配置することです。この監視員は一日あたり通常五人から六人が望ましいとされています。そうなる多数の監視員を確保しなければ

ばなりません。以前のようにお金を出して雇いたいことができないため、保護者や地域の人々のボランティアに頼るほかありません。各PTAでは保護者による当番制の監視体制をつくり出すため地域からの協力を求めています。合併によって途絶えてしまった夏休みプール開放が復活できるかどうかの瀬戸月プール見守り応援隊TPM23を結成してプール開放を実現させられないでしょうか。

親と地域と学校で、プールの安全づくり

TPM23

(高月プール見守り応援隊)を結成へ

TAKATSUKI・POOL・MIMAMORI・GUENTAI



開放される

プールと期間

七月二十三日から三十八日間の夏休みが始まります。

検討会議では、学校プールの開放を七月二十五日から八月五日の期間で土・日を除く十日間とすることが決まりました。開放するプールについては、どの小学校の子どもたちも利用でき

る機会が均等となることを大切にしようとして、高月地域内の全ての学校プールを各学校ごとに開放することとなりました。

保護者から利用承諾の提出

子どもたちがプールを利用するにあたっては、保護者からの利用承諾書の提出を求めることになりました。

プール開放にはできる限りの安全対策を講じます。事故は起らないとは言え、責任に起因する事故は別として、プール活動中の事故に対して保護者としての責任の所在も明確にする必要があるからです。また、保護者には不慮の事故に備えて保険への加入も検討していきます。お子さんが安心してプール活動をする

ための備えです、ご理解をお願いいたします。

プール監視員講習も実施

プールで起こる事故は命にかかわる重大な事故になりかねません。したがって、プール監視員をお願いする保護者や地域のみならず、プール開放を始める前に万一の事故に

きるよう救命救急処置やAED機器の使用方法などを習得するプール監視員講習会が必要になります。各PTAでは監視員となる保護者を対象に、講習会が実施される予定です。



高月地域づくり協議会設立おめでとうございませう。高月地域まちづくりプラン策定の座長をつとめさせていただきまして。昨年九月からのワークシヨップを何回も重ねながら委員みんなで作ってあげました。ワイワイとあがれこれ意見を出しながらすすめる形で、ときには脱線し、ときには停滞もしながら、ひとつひとつの言葉に気持ちを込めてつくりました。そこから生まれた

寄稿 私も一言

「寄稿私も一言」のコーナーについて
このコーナーは、皆さんからのご意見・提言や高月地域にご縁の深い方々から「たかつき」に対する思いを紹介しよう

「あつたかつき」を是非

滋賀県立大学准教授 近藤隆二郎

言葉が「あつたかつき」です。「めざそう、あつたかいひとのしくみ」という合言言葉で、「おもいやる」「いかす」「つながる」「いそしむ」というスタンプロジェクトをすすめるというものです。合併後の地域プランづくりには市内各地が取り組んでおりましたが、実は高月支所がビリを走っていました。事務局が勝手にプランの素案をつくるのではなく、委員みなさんの言葉や反応を大事にしてゆつくりとすすめてきたためです。おかげで、住民のみなさまへのアンケ

とするものです。今回は、滋賀県立大学准教授の近藤隆二郎先生にお願ひ致しました。先生は昨年度、高月支所が策定した「地域まちづくりプラン」の策定委員会の座長として活躍

されました。先生からはプラン策定での地域の委員さんとかかわりなどエピソードが寄せられました。みなさんの中でご意見、ご提言のある方は是非お寄せください。



ートではプラン素案への参画度合いも聞きまわりました。そして、「ご縁のまち」「千手の子」「すてきAGE」「結農」「にぎわい観交」という魅力的なプロジェクト名も生み出すことができました。思い起こせばワイワイとしたあの時間、そのものが「あつたかつき」であったのではと思っていま

是非このプランととも高月地域がよなりあつたかなまちになることを目指しています。

T P M 23 (高月プール見守り応援隊)

協 力 ・ 参 加 申 込 書

高月地域づくり協議会長 宛て

私、夏休み学校プール開放においてプール監視員として協力します。
平成23年 6月 日

住 所 長浜市高月町

年齢 男 ・ 女

氏 名 性別 歳

連絡電話番号

ご家庭の電話あるいは携帯電話の番号でも結構です。

※このプール監視員はボランティアでお願いするもので、報酬を支払うことはできません。

※プール監視の場所は、申込者住所の最寄りのプールでの監視を基本に考えます。但し、希望があればお知らせください。

※6月30日までに高月支所地域振興課あるいは地域づくり協議会事務局(高月公民館)へ提出してください。